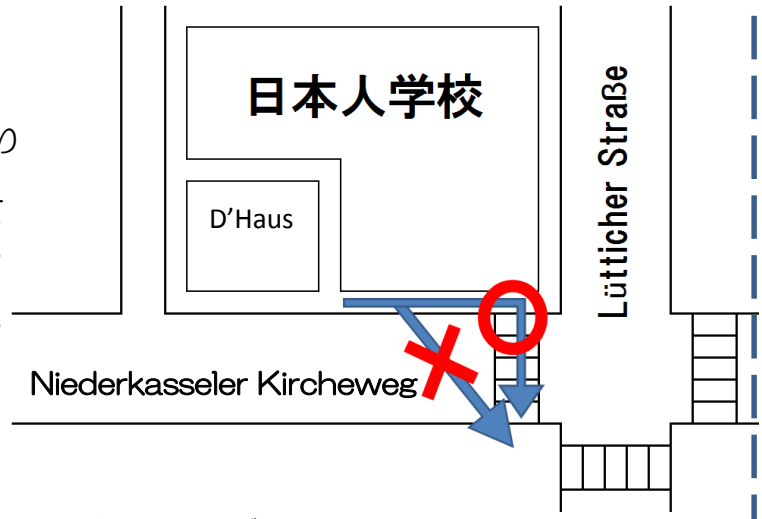
デュッセルドルフ日本人学校
父母会

交通安全について

デュッセルドルフ日本人学校では、多くの子どもたちが電車・バスを使って通学しています。
また転入生も多く、日本や前任地との交通ルールの違いにとまどわれる方も少なくありません。
この機会に、お子さまと交通安全について話し合ってみてください。

通学路での注意事項



- ◆ 横断歩道では、その上をまっすぐ渡りましょう。
  斜め横断は危険です。
- ◆ 必ず自分の目で左・右・左をしっかり確認しましょう。
  特にLütticherstrasseから右折してくる車には十分気を付けてください。
- ◆ 信号を待つときは、車道ギリギリに立たず、一歩下がって待ちましょう。
- ◆ 信号が青にかわっても直ぐに渡らず、車がきてないか確認してから渡りましょう。
- ◆ 信号が黄色になってから渡り始めるのはやめましょう。
- ◆ 歩道の一部で、赤くなっているところは、自転車専用ゾーンです。歩かないように気を付けましょう。歩道では、広がらずに歩きましょう。

青信号が短く、すぐ黄色になってしまうような気がしますが、警察によると、青のうちに信号を渡り始めれば、途中で黄色になっても普通に歩いて渡りきれる十分な時間を設定しているそうです。

車で送迎している保護者の皆様へ

◎ 危険ですのでおやめください！
- 反対車線に車をとめ、子どもに車道を横断させる
- 二重駐車
- 子どもを降ろすときの急停車、急発進

◎ 学校前の道路(Niederkasseler Kirchweg) の制限速度は３０Km/hです。

◎ ドイツでは、道の太さに関係なく、交差点では表示がない限り「右側が優先」になります。右側から進入してくる車に優先権があるので、出会い頭の事故にご注意ください。

◎ 校門前の駐車禁止区域（路上に白いラインがひかれています）に５分以上駐車した場合は、レッカー移動されます。

一人一人がドイツ社会のルール・マナーを知り、「自分の身は自分で守る」「他人に迷惑をかけない」ということを心がけましょう。 子どもたちの危険な行動、迷惑な行動を目撃したら、その場で声をかけるよう、私たち父母も気をつけたいものです。